

夏真っ盛りのふるさとで ワクワクのイベントが続きます

第24回

杉岡 誠 村長の 愛楽故郷味

あいらくふるさとみ



7月は、ゲストハウスCOCODA主催の「ワクワク交流イベント」や「まだいなマルシェ」のほか、直前までの雨を吹き飛ばした「はやま湖まつり花火大会」「飯館村長杯パークゴルフ大会」など、熱意あふれるイベントが盛り沢山でした。8月にかけても、夏のイベントが目白押しとなっております。例年以上の暑さが予想される今夏、体調には「層」ご留意され、お過ごしください。

「さらり」は、新規就農者の呼び込みの拠点であるのと同時に、農業研修の場、農業を通じての交流場所としての活用はもとより、「農」に親しんで来た皆様、「農」に興味を持つ方など、全ての方々にご利用いただける施設です。また、昨年リニューアルした「きこり」や多くのキャンパーにご利用いただいている「あいの沢キャンプ場」に隣接し、有機的な活用が期待できる貴重な宿泊研修施設です。すでに農業研修をする大学生や花農家さんの会合などにもご利用いただいております。どうぞ積極的にご利用いただきたく存じます。

6月30日には、「飯館みらい発電所」の竣工式が行われました。そして、「飯館から始まる森林再生と未来志向型農業体系緊急整備事業」により整備された、この木質バイオマス発電施設からの「排熱」を利用した「未来志向型農業」へのチャレンジも動き始めました。詳しくは7月号の「発電×農業」「栽培産地立地協定」をご覧くださいと思います。さらにその先には、皆様のハウスやご自宅で「運ばれてきたクリーンな熱を活用する」、そんな未来を手繰り寄せることが出来れば、と夢見ています。

翌日の7月1日には、「農業研修館さらり」がオープンしました。常に村民の営みの中心にあるのが「農」であり、そのなりわいの姿が「農業」です。飯館村は東日本大震災以降、全村避難中にあっても、農の営みを途絶えさせてはならない」との思いから、村内は勿論、村外での営農支援、遠隔地での営農支援にも力を尽くして来しました。

ひとのうごき

おくやみ

氏 名	年齢	行政区
佐藤 安雄 さん	64	二枚橋・須萱
新妻 春子さん	94	蕨 平
菅野 明子 さん	76	比 曽
渡邊 しづえ さん	89	飯樋町
鈴木 秀治 さん	86	小 宮
阿部 弘子 さん	66	佐 須

ご冥福をお祈り申し上げます



(6月21日から7月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。



ひとのうごき 令和6年7月1日現在

人 口	今 月 (前月比)	6月1日～30日までの人口動態
●男	2,318人(－7)	転入 1人
●女	2,266人(－7)	転出 9人
計	4,584人(－14)	出生 0人
		死亡 6人
世帯数	1,800戸(－2)	(住民基本台帳人口)

大槻美友さんのキャンドルが 「太平洋・島サミット」の贈り物に

『工房マートル』(上飯樋)のろうそく作家・大槻美友さんのボタニカルキャンドルが、7月に東京都で開催された『2024年太平洋・島サミット』で、各国代表の配偶者へ贈られました。

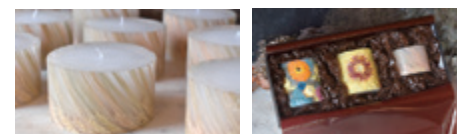
制作の依頼は、外務省から。「震災からの復興の地・福島県で丹念に育てられた植物を使った手づくりのキャンドルを贈り、平和や安全へのあたたかな祈りを込めたい」と選定の理由が伝えられたそうです。

「この村で工房を構えているからこそ役目だと感じて、一つひとつに向き合ってつくりました」と大槻さん。「手に取る方が、村や福島のことを気にかけてくれる瞬間があったらいいなと思いながら」。

大槻さんは、世界中から届いた震災時のサポートへの感謝と、キャ



ンドルに込めた想いを綴り、英訳を付けたカードも添えました。カードのメッセージは「福島県内の農家さんが大切に育てた、色鮮やかな花々のキャンドルをぜひお楽しみください」と結ばれています。



3種類のキャンドルを制作しました。(村産シャクヤク、カスミノウ、ヘリクリサム、千日紅など／村産の麦／南相馬市産ラナンキュラス)

村民広報委員 富士男の

ちょっと寄り道 ④



!! 8月の思い出 !!

先日、同級生に会う機会がありました。中学生時代の仲間です。ひどく懐かしく、そしてどこことなく新鮮で、話していると、まるで中学生時代に戻ったような気になりました。

その言葉の中で、「お互い健康が一番!」「元気でいような!」笑顔で話してくれたのが、とても印象的でした。歳をとってしまったせいでしょうか?でも

世代にかかわらず誰でも感じる友人達との楽しい会話だと思います。

8月はお盆の時期。帰省の時です。ご先祖様も、都会に住んでいる息子達や娘達、そして飯館での思い出を持って離れて行った叔父さん、叔母さん達も、この8月にはふるりの景色や水や土の匂いを求め、友人達に会うために帰って来るのだらうと思います。

帰省することが、とても大事な時間を取り戻すひとときになってほしいと思っています。そして友人達と酒を酌み交わし、初恋の話や苦労したこと、思い出話をして、一時昔に心を馳せて、心も若返った後、ふるりの8月の思い出を土産に、また新しい明日に向かって行ければいいと思っています。

